一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長などに質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

問 ＶＲ機器による認知症の早期発見を

答 費用対効果等を総合的に考慮し検討



公明党
岡崎（おかざき） 悟（さとる） 議員

問 **軽度認知障害は、病状が軽度のうちに、生活習慣の改善などを行うことで、健康な状態に回復することも可能といわれている。本村のスクリーニング検査以外にも、ＶＲ技術を活用して、記憶力や判断力を確認し、認知症の早期発見を進める水戸市の取り組みがある。ＶＲゴーグルをのぞいて、画面上に出題される問題に目線で回答するもので、検査時間は5分～10分程度、総合評価点などが表示され、予防に向けた取り組みが受けられる。本村でも取り組めないか。**

答 本村は、20項目にまとめたセルフチェック検査とパソコンを活用したスクリーニング検査を実施し、軽度認知障害の段階での早期発見の機会を増やし、進行を防止できるように取り組んでいる。ＶＲ機器の導入にあたっては、慎重を期す。ＶＲ機器の機能強化は今後も図られていくことから、高齢者にとっての操作性や眼病による結果への影響の有無、費用対効果等を総合的に考慮し検討したい。



認知症の早期発見に役立つＶＲ機器

問 災害時の休園休校基準を策定すべき

答 保育施設は策定に向け議論を行う



新政とうかい
宮本（みやもと） 翔太（しょうた） 議員

問 **保育施設の臨時休園基準・小中学校の休校判断基準を村として策定すべきでは。また、防災関係者や医療従事者、教職員など災害対応に当たる保護者の子への代替保育（拠点園方式）導入への見解は。**

答 保育施設の基準は未策定。災害の激甚化を踏まえ、策定に向け議論する。代替保育も公立・民間双方の保育現場の意見を聴きながら検討する。学校の臨時休校は校長が判断するが、柔軟に対応するため基準は設けず、教育委員会と関係機関で協議の上、児童生徒の安全を最優先に判断し、速やかに周知を行う。

問 **基準策定の目処は。現場の裁量、相談体制、ＰＤＣＡを組み込むべき。緊急連絡は専用アプリへの一極集中でなく複数手段を組み合わせるべきでは。**

答 保育施設では指摘を踏まえ検討し、次の梅雨・台風シーズンまでに公表を目指す。連絡はＨＰ掲載や防災行政無線等も活用する。小中学校も専用アプリの他、複数の手段で情報伝達を行っていく。



近年激甚化している自然災害